

# 令和7年度採用 高等学校 数学

教科（科目）	受験番号
数学	

1 次の(1)～(10)の問い合わせに答えよ。

(1)  $\triangle ABC$ において、 $AB=4$ ,  $BC=6$ ,  $CA=5$ であるとき、 $\triangle ABC$ の外接円の半径の長さを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は11。

①  $\frac{\sqrt{7}}{16}$       ②  $\frac{4\sqrt{7}}{7}$       ③  $\frac{20\sqrt{7}}{21}$       ④  $\frac{8\sqrt{7}}{7}$       ⑤  $\frac{8\sqrt{7}}{3}$

(2) 赤球、青球、白球がそれぞれ3個ずつ計9個ある。この球を3個ずつに分け、3つの組をつくるとき、3つの組とも赤球1個、青球1個、白球1個の組になっていく確率を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は12。

①  $\frac{1}{280}$       ②  $\frac{3}{140}$       ③  $\frac{9}{70}$       ④  $\frac{27}{140}$       ⑤  $\frac{27}{70}$

(3) 整式  $P(x)$ を  $x^2 - 4x + 3$ で割ると余りは  $-3x + 1$ ,  $x^2 - 4$ で割ると余りは  $x + 4$ である。 $P(x)$ を  $x^2 - x - 6$ で割ったときの余りを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

①  $-4x - 4$       ②  $-4x - 2$       ③  $-4x$       ④  $-2x - 4$       ⑤  $-2x - 2$

(4)  $x = 2 - \sqrt{3}$  のとき,  $x^4 - 3x^3 - 6x^2 + 11x + 1$  の値を, 次の①～⑤の中から一つ選べ。

解答番号は 1 4。

①  $-2\sqrt{3} - 2$       ②  $-2\sqrt{3} - 1$       ③  $2\sqrt{3}$

④  $2\sqrt{3} + 1$       ⑤  $2\sqrt{3} + 2$

(5) 座標平面上に点 A(1, 2), B(5, 4), C(2, 7) があり, 放物線  $y = x^2 + ax + b$

は点 A を通り, 線分 BC と点 D で交わっている。 $(\triangle ABD \text{ の面積}) : (\triangle ADC \text{ の面積})$

= 1 : 2 であるとき, 定数  $a$ ,  $b$  の値の組合せを, 次の①～⑤の中から一つ選べ。解

答番号は 1 5。

著作権保護の観点により、  
掲載いたしません。

①  $a = -5, b = 6$       ②  $a = -4, b = 5$       ③  $a = -3, b = 4$

④  $a = -2, b = 3$       ⑤  $a = -1, b = 2$

(6) 原点を通る2つの直線が、点A, Bで円 $x^2 - 12x + y^2 - 4y + 30 = 0$ に接している。  
 このとき2本の直線と円で囲まれた部分の面積を、次の①～⑤の中から一つ選べ。  
 ただし、円の内部の面積は含めない。解答番号は16。

- ①  $10\sqrt{3} - \frac{20}{3}\pi$       ②  $10\sqrt{3} - \frac{10}{3}\pi$       ③  $20\sqrt{3} - \frac{20}{3}\pi$   
 ④  $20\sqrt{3} - \frac{10}{3}\pi$       ⑤  $20\sqrt{3} - \frac{5}{3}\pi$

(7) A(-1, 3, -2), B(1, 2, 2), C(0, 1, 1)に対して、 $\vec{AB}$ と $\vec{AC}$ の両方に垂直なベクトルを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

- ① (-3, 2, 5)      ② (-2, -3, 5)      ③ (1, -2, -1)  
 ④ (-3, 5, -2)      ⑤ (5, -2, -3)

(8) 複素数平面上の異なる3点O(0), A( $\alpha$ ), B( $\beta$ )に対して、 $\alpha^2 - 2\alpha\beta + 4\beta^2 = 0$ が成り立っているとき、 $\angle AOB$ の大きさを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

- ①  $\frac{1}{6}\pi$       ②  $\frac{1}{4}\pi$       ③  $\frac{1}{3}\pi$       ④  $\frac{2}{3}\pi$       ⑤  $\frac{5}{6}\pi$

(9) 確率変数  $X$  は、1, 2, 3, 4, 5, 6 のいずれか1つの値をとる。 $X = 1$  である確率を  $x$ ,  $X = 2$  である確率を  $y$  とすると、 $X$  の確率分布は下の表のようになつた。 $X$  の期待値が 4 であるとき、 $X$  の分散を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 19。

$X$	1	2	3	4	5	6	計
確率	$x$	$y$	$2x$	$y$	$4x + y$	$2x$	1

$$\textcircled{1} \quad \frac{19}{9} \quad \textcircled{2} \quad \frac{127}{9} \quad \textcircled{3} \quad \frac{55}{3} \quad \textcircled{4} \quad \frac{73}{3} \quad \textcircled{5} \quad \frac{91}{3}$$

(10) 関数  $f(x) = e^x \sin x$  の  $n$  次導関数を  $f^{(n)}(x)$  とするとき、 $f^{(5)}(0)$  の値を、次の①～⑤の中から一つ選べ。ただし、 $e$  は自然対数の底である。解答番号は 20。

$$\textcircled{1} \quad -5 \quad \textcircled{2} \quad -4 \quad \textcircled{3} \quad -3 \quad \textcircled{4} \quad -2 \quad \textcircled{5} \quad -1$$

2 正三角形 ABC があり、点 P は次の規則 [1] ~ [4] に従って正三角形の頂点を移動する。

[1] はじめに P は頂点 A にいる。

[2] サイコロを投げて 1 の目が出たとき、P は時計回りに隣の頂点に移動する。

[3] サイコロを投げて 2 の目が出たとき、P は反時計回りに隣の頂点に移動する。

[4] サイコロを投げて 1, 2 以外の目が出たとき、P は移動しない。

サイコロを  $n$  回投げた後、P が A にいる確率を  $P_n$  とする。ただし、サイコロは 1 ~ 6 のどの目も出るのが同様に確からしいサイコロとする。

このとき、次の(1), (2)の問いに答えよ。

(1)  $P_3$  の値を、次の①~⑤の中から一つ選べ。解答番号は 21。

$$\textcircled{1} \quad \frac{2}{9} \quad \textcircled{2} \quad \frac{11}{36} \quad \textcircled{3} \quad \frac{13}{36} \quad \textcircled{4} \quad \frac{5}{12} \quad \textcircled{5} \quad \frac{17}{36}$$

(2)  $P_n$  を  $n$  の式で表したものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。解答番号は 22。

$$\begin{array}{lll} \textcircled{1} \quad \left(\frac{2}{3}\right)^n & \textcircled{2} \quad -\left(\frac{1}{2}\right)^n + \frac{2}{3} & \textcircled{3} \quad \left(\frac{1}{4}\right)^n + \frac{1}{3} \\ \textcircled{4} \quad \frac{1}{3} \cdot \left(\frac{1}{4}\right)^n + \frac{1}{3} & \textcircled{5} \quad \frac{2}{3} \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^n + \frac{1}{3} & \end{array}$$

3 定義域を  $0 \leq \theta < 2\pi$  とする  $\theta$  に関する関数  $f(\theta) = \cos 2\theta + 2\sin \theta + 4$  について、次の(1), (2)の問い合わせに答えよ。

(1) 関数  $f(\theta)$  の最大値を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 2 3。

① 1      ② 3      ③  $\frac{9}{2}$       ④ 5      ⑤  $\frac{11}{2}$

(2)  $f(\theta) = a$  を満たす異なる  $\theta$  の値が 2 つ存在するとき、定数  $a$  の値の範囲を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 2 4。

①  $1 < a < 5$       ②  $1 < a \leq \frac{11}{2}$       ③  $1 < a < 5, a = \frac{11}{2}$   
④  $a = 1, 5 < a \leq \frac{11}{2}$       ⑤  $5 \leq a \leq \frac{11}{2}$

4  $a, b$  を定数とする。直線  $\ell : y = -4x + 8$  と、関数  $f(x) = ax + \frac{b}{x} - 2\log x$  のグラフが点 (1, 4)において接するとき、次の(1)～(3)の問い合わせに答えよ。

なお、それぞれの [ ] に該当する数字を、解答番号 25～32 の解答欄に書くこと。ただし、 $\log x$  は自然対数である。また、分数の形で答える場合は、既約分数（それ以上約分できない分数）の形で答えること。

(1)  $a, b$  の値は、 $a =$  [25],  $b =$  [26] である。解答番号は 25, 26。

(2) 関数  $y = f(x)$  の極小値は、[27]  $-$  [28]  $\log$  [29] である。解答番号は 27～29。

(3) 直線  $\ell$  と  $x$  軸との交点を P とするとき、P を通り  $y$  軸に平行な直線と、直線  $\ell$  および関数  $y = f(x)$  で囲まれた部分の面積は、 $\frac{30}{31} - \log$  [32] である。解答番号は 30～32。

5 直線  $\ell : y = 3x$  上の点  $P_n$  ( $n=1, 2, 3, \dots$ ) から直線  $m : y=x$  に垂線を引き交点を  $Q_n$  とし、点  $Q_n$  を通り直線  $\ell$  に垂直な直線と直線  $\ell$  の交点を  $P_{n+1}$  とする。点  $P_n$  の  $x$  座標を  $a_n$ ,  $\triangle P_n P_{n+1} Q_n$  の面積を  $S_n$ ,  $a_1 = 5$  とするとき、次の(1)～(3)の問い合わせに答えよ。

(1)  $S_1$  の値を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 3 3。

- ① 5      ② 10      ③ 15      ④ 20      ⑤ 25

(2)  $S_n \leq \frac{1}{4}$  を満たす最小の自然数  $n$  の値を、次の①～⑤の中から一つ選べ。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.30$  とする。解答番号は 3 4。

- ① 5      ② 6      ③ 7      ④ 8      ⑤ 9

(3)  $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n S_k$  の値を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 3 5。

- ①  $\frac{250}{9}$       ②  $\frac{100}{3}$       ③  $\frac{350}{9}$       ④  $\frac{400}{9}$       ⑤ 50